		第2次	総合計画施策詞	平価シー	ト《令和3年	度分》			
 施策コード	基本目標		て・福祉】笑顔あふれる						
2 — 4	施策目標	4 障がい者支援	 の充実						
		る年齢のすべての人々の	の健康的な生活を確保し、	福祉を促進					
			なびすべての人々の完全かつ。 セント・ワーク)を促進する						
	目標17. 持続可能 ナーシップを活性		手段を強化し、グローバル	・パート					
SDGs 連携分野	7 297 2111	10 9 3							
	3 すべての人に 発表と描述を ——///◆	8 植きかいも 経済成長も	17 パートナーシップで 日間を確成しよう						
目指すべきま			-員として自立し、自分ら 受事業所が不足しています;				ないように対応	ぶしていきます。	
	●主要加	施策と概要【PLAN】			この1年間の成果	及び反省点【ロ	0]	担当課	評価 【CHECK】
・指定相談支援事の周知、認定調査・機能の整備・図ります。・障がい者計画・	の充実、サービス 確保など、障がい者	ごとの連携強化はもと。 事業者の確保及びサート 予支援推進体制の充実。 十画・第1期障がい児	より、制度やサービス内容 ビスの質の向上、関連施 や、持続可能な事業展開を 品祉計画の点検・評価・見	本人の意向定相談所と利用者の増加金の支給	業については、障がなどに応じた福祉す 車携して実施してり 加により相談支援 等によりサービスの	ナービスの利用i います。 事業所が不足し [~]	十画の作成を指 ていますが、補	福祉課	В
ムヘルプサービ ご 重サービスの充実 ・障がい者が身近 青報提供体制の充 す。	業所、医療機関やする、) や重度訪問介護を図ります。 な地域で自分に合って実や、権利擁護事業制の強化に向け、基	をはじめ、日常生活及 ったサービスを受ける。 きの充実、福祉タクシー	携のもと、居宅介護(ホー び日中活動を支援する各 ことができるよう、相談・ 一助成事業の充実を図りま や成年後見センターの設置	確保に課題 ます。 福祉タクシ 性確保に努 また、成年	後見及び障がい者基	止サービスの充身 目があり、通院等 甚幹相談支援セン	とは図られてい 等外出への利便 ンター事業につ	福祉課	В
			と、障がいの予防、早期発	や事業所な	所支援事業利用者に ど関係機関と連携し 充実に努めました。	、障がいの予防		福祉課	A
・就労移行支援サるようにするとと るようにするとと が継続支援サービ・チャレンジハウ な運営により、利	もに、一般企業への これを充実していきま これで富(就労継続す 日本の立場に立った	一人でも多くの障がいた。 対職が困難な障がいます。 でである。 でである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	い者が一般企業に就職でき 者に就労機会を提供する就 支援センター十四山の適正 を提供していきます。 ーツ・レクリエーション活	就労継続支票がに必要ない。	愛事業所により、阿 知識や能力向上のが 虎き障がい者の就等	こめの訓練を実施	色しました。	福祉課	A
			の連携のもと、居住の場と		ームの施設数は十分 携し整備を進めます		しので、今後も	福祉課	В
の浸透を図るため	者に関する市民の理	耳業、福祉教育等を推済	イゼーションの理念の一層 進するとともに、ボラン	行いました。 高齢化によ	ランティア団体に初 る会員の減少が課題 を継続して実施し、	夏ですが、これ が	いらも啓発活動	福祉課	A

(7) 自立支援給付と地域生活支援事業の推進 ・障害者総合支援法に基づく、各分野における障がい福祉サービスに対し、介護給付 費や訓練等給付費、自立支援医療費などの自立支援給付を行うとともに、指定相談支 援事業所、医療機関などとの連携のもと、相談の支援や日常生活用具の給付・貸与、 移動の支援をはじめとする地域生活支援事業を推進し、日常生活及び社会生活を総合 がに本援しませ

的に支援します。

(8) 障がい者虐待の予防・早期発見体制の充実 ・障害者虐待防止法の施行をふまえて設置した障害者虐待防止センターを中心に、障 がい者虐待の未然防止や迅速な対応、その後の適切な支援等を行い、障がい者の権利 擁護を図ります。

障がい者が住み慣れた地域で安心して生活できるように、障がい福祉サービスの給付を行い、利用者に必要なサービスの提供を行いました。 第6期障がい福祉計画、第2期障がい児福祉計画策定に向けて行ったアンケート調査を基に、多様化する福祉サービスのニーズ把握に努めます。 福祉課 A

福祉課

A

障がい者の虐待相談や通報に迅速に対応し、関係機関と連携 し、適切な支援を行いました。 今後も引き続き体制を維持していきます。

現状値 (平成29年度 中間値 (令和4年度) ●施策目標に対する市民満足度 単位 % 障がい者福祉施策の充実 14.6

	●成果指標		単位	現状値		各年度(D実績値		目標(目指すり	
				(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度
(1) [章がい者相談支援事業所数		か所	3	3	3	3		5	6
(2)	章がい福祉サービス利用者数		人	277	306	334	372		300	330
(3)	章がい児福祉サービス利用者数		人	84	81	117	126		100	130
(4) 京	忧労移行支援事業利用者数	人	4	12	17	14		7	9	
(5)	ブループホーム数		か所	2	2	3	3		3	4
(6) 袺	冨祉ボランティア登録者数		人	86	85	88	83		89	92
(7) ‡	也域生活支援事業利用者数		人	130	92	82	74		135	140
事業 No	実施計画に係る事業名	担	当部署			今後の	進め方【AC	CTION]		
(1)	相談支援事業	福	虽祉課	相談支援の利用援事業所数は格が必要となって 援事業所を増く	横ばいである こきます。相	ため、事業 談体制を充	所または相	談員の確保	改善	
(2-1)	障害者自立支援事業	褔	届祉課	対象外					対象	外
(2-2)	心身障がい者福祉タクシー助成事業	裮	冨祉課	住み慣れた地域 出する際の移動		院を含め外	現状絲			
(3)	障害児通所支援事業 (再掲)	褔	冨祉課	対象外					対象外	
(4-1)	就労移行支援事業	禕	福祉課 対象外						対象外	
(4-2)	就労継続支援事業	福祉課		対象外					対象外	
(5)	5) 障がい者グループホーム整備促進事業		冨祉課	障がいのある人が自立した生活を安定的に営めるよう、また、グループホームの確保につながるよう、共同生活援助を実施する事業所に対し運営費の一部を補助することは必要です。					現状網	掛
(6)	(6) 障がい者ボランティア活動補助事業			福祉課 障がい者の福祉の向上を目的とする担い手団体の育成のために、引き続き補助金を交付します。				育成のため	現状維持	
(7-1)	障害者自立支援事業 (再掲)	袺	畐祉課	対象外			対象外			
(7-2)	地域生活支援事業	褶	届祉課	対象外					対象	外

施策の今後の方針 【ACTION】

(7-3) 障害者医療支援事業

障がい者支援の各施策については、障がい者計画、第6期障がい福祉計画、第2期障がい児福祉計画に沿って、推進します。 障がいのある人が、住み慣れた地域で地域の一員として安心した日常生活が送れるよう地域住民や市社会福祉協議会、サービス提供事業者等と連携していきます。

対象外

対象外

福祉課

		第2岁	V総合計画	実施計	画事業	評価	シート《令和	3年度分》			
事業No		実施計	画に係る事業	名			課	グループ	作成日		
(1) 相談3	泛援事業						福祉課	障害福祉グループ	令和4年7月7日		
 Ⅰ総合計画の	位置づけ										
	基本目標	2	【健康・子育	育て・福祉	业】笑顔。	あふれん	る、健やかで共	に支え合うまち	重点施策		
基本計画	施策目標	4	障がい者支持	爰の充実							
	主要施策	障がい者支持									
	主要事業	1	相談支援事業								
	目標3. あら	. ゆる年 	齢のすべての)人々の関 	基康的な 与	主活を確	産保し、福祉を	促進する <u></u>			
SDGs 連携分野											
连场刀却											
	3 すべての人に 健康と福祉を										
	- ¼ /•										
##### *	- ₩ •										
事業内容【F	- √√ ◆ PLAN】 障がいのある。								^		
■業内容【F	ー 〜 ↓ PLAN 】 障がいのある。 という希望を 切なサービス	実現して を利用で	ていくために、 できるよう、『	、本人や・	その家族	が適		弥富市社会福祉協議。	<u>A</u>		
事業内容【F 事業目的	W↓ PLAN】 障がいのある。 という希望を	実現して を利用で	ていくために、 できるよう、『	、本人や・	その家族	が適	主な協働・ 関連団体等	弥富市社会福祉協議。 愛厚弥富の里	<u>숙</u>		
	ー 〜 ↓ PLAN 】 障がいのある。 という希望を 切なサービス	実現して を利用で	ていくために、 できるよう、『	、本人や・	その家族	が適	主な協働・ 関連団体等				
	ー 〜	実現して を利用で 図ります の 保護	ていくために、 できるよう、 ¹ す。 者、介護者な	、本人や- 専門的で を からの を がらの	その家族な 総合的な に応 に応	が適 相談 	主な協働・ 関連団体等	愛厚弥富の里	育センター 朝障がい福祉計画・第		
		実現して を利用で 図ります の 保護	ていくために、 できるよう、 ¹ す。 者、介護者な	、本人や- 専門的で を からの を がらの	その家族な 総合的な に応 に応	が適 相談 	関連団体等	愛厚弥富の里 愛知県青い鳥医療療 障がい者計画・第64	育センター 朝障がい福祉計画・第		
事業目的	ー 〜	実現して を利用で 図ります の 保護	ていくために、 できるよう、 ¹ す。 者、介護者な	、本人や- 専門的で を からの を がらの	その家族な 総合的な に応 に応	が適 相談 	関連団体等 	愛厚弥富の里 愛知県青い鳥医療療 障がい者計画・第65 2期障がい児福祉計画	育センター 朝障がい福祉計画・第		

■事業費(単位	፟ኒ:千円)【	DO]												
			度(実績)	令和	3年度(計画)		令和4年	度(計画)			令和5年原	度(計画	·)
	内部 (具体的な	う (容内な	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的なD	内容)(事業費 (直接経費)	(具	内訳 体的な内容)	事業費 (直接経費	()		n訳 内な内容)		業費 経費)
	業務委託		21, 704	業務委託費	ŧ	21, 704	業務	务委託費	21,	704	業務委	託費		21, 704
	(補助	額)	0	(補助額	į)	() ((補助額)		0	(補」	助額)		0
	(補助	額)		(補助額	į) 			(補助額)			(補」	助額)		
事業内訳	(補助	額)		(補助額	į)			(補助額)				助額)		
	(補助	額)		(補助額	(補助額)		((補助額)			(補助額)			
	(補助	額)		(補助額	į)			(補助額)			(補」	助額)		
	合	計	21, 704	合 i	H	21, 704	1	合 計	21, 7	04	合	計	2	21, 704
	(補助	額)	0	(補助額))	0		(補助額)		0	(補	助額)		0
	成果技	指標		単位	現状			各年度0				目標値(
(.) ph)) to let !				\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	(平成29年		年度	令和2年度	令和3年度	令	和4年度	令和5年原	要 令	和10年度
(1) 障がい者相談	於文援事業 /	叶 数		か所	3	3		3	3			5	_	6
					<u></u>									

指標の分析

令和2年度に引き続き3事業所へ委託しました。また、海部南部権利擁護センターの機能の一部である障がい者基幹 相談支援センターも開始し、相談機能の強化を図りました。

■事業の評価【CHECK】

Į	項目	評価視点	評価の結果
必	要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか・市民ニーズ、社会需要・市民生活上必要であるか	障がい者、その保護者、介護者などからの相談に応じ、必要な情報提供や権利擁護のために必要な援助を行うには、専門的な視点での助言や支援が必要です。相談のうえ、サービスプラン(利用者単位で作成する障害福祉サービスの利用計画)を立てた件数が令和3年度は、障がい者285件・障がい児97件あり、適切なサービス受給に繋がっています。
効]率性	・コストの削減、質用対効果・執行休制の効率性	相談支援を担う3事業所への人件費であり、相談件数の増加(令和元年度313件、令和2年度317件、令和3年度346件)にも関わらず、委託費は抑制できています。
妥	当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	相談内容が多様化する中、市から相談支援事業所に事業を 委託することで、専門的かつ総合的に相談支援が実施で き、また柔軟な対応が可能です。
施策へ	の貢献度	• 目標達成度	相談支援事業を委託することは、総合計画における障がい 者支援の充実を図るために必要であり、相談体制の強化に 繋がります。

課長意見	方向性
相談支援の利用者は多様化し増加傾向にありますが、相談支援事業所数は横ばいであるため、事業所または相談員の確保が必要となってきます。相談体制を充実させるため、相談支援事業所を増やしていく方向です。	改善

		オン	\#6 P F	计凹 夫他	1 12 7 7	- H I III	シート《令和	の十尺万	ヷ <i>゚</i> ゚				
事業No		実施計	画に係る	事業名			課	4	ブループ	作成日			
(2-1) 障害者	f自立支援事業						福祉課	障害	冨祉グループ	令和4年7月7日			
 ■総合計画の [∙]	位置づけ					·							
	基本目標	2	【健康	子育て・福	祉】笑顔	あふれる	る、健やかで共	に支え合	うまち	重点施策			
基本計画	施策目標	4	障がいる	者支援の充実									
基 个計画	主要施策	2	生活支持	爰の充実									
	主要事業 障害者自立支援事業												
SDGs													
連携分野	3 ずべての人に 健康と福祉を												
	-⁄√•	2° A - L- 1	走 日 巡	小江 公打 人工	- NT + NY 1								
	- / √ ▼ PLAN 】 障がい児・者; ができるよう	章がい 権	晶祉サー	ビスや補装具	:活を営む 表に係る費	*こと		障がい福	祉サービス事	4業所			
		章がい 権	晶祉サー	ビスや補装具	:活を営む に係る費	た用の	主な協働・ 関連団体等	障がい福補装具事		5 業所			
■事業内容【P	- / √ ▼ PLAN 】 障がい児・者; ができるよう	章がい 権	晶祉サー	ビスや補装具	:活を営む に係る費	た用の				工業所			
■事業内容【P		障がい福値値点は場に場にはりにがにがにがにがにがにがにがにがにがががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががが<	国祉サー 曽進を図 た日常 ずる給付	ビスや補装具 ります。 生活や社会生 を行います。	に係る費	常用の		補装具事国保連障がい者	業者	用障がい福祉計画・1			
■事業内容【P	- AV PLAN】 障がい児・者; ができるい、 着 ができるに、 着 ができる障害者; ・特定障害者;	障ばが次がががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががが	国祉サー図 連を図 たるので でで でで です。 でで です。 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、	ビスや補装具 ります。 生活や社会生 を行います。 業	に係る費	常用の	関連団体等	補装具事 国保連 障がい者 2期障が	業者	用障がい福祉計画・1			
事業内容【 P		障福が欠デ特・爰自にイ別訓給サートはサート等登址・ 作等を強いた	国祖 単進を 日給 たる に で で で で で で で で で で で で で	ビスや補装具 ります。 生活や社会生 を行います。 業	に係る費	常用の		補装具事 国保連 障がい者 2期障が	業者 計画・第6期 い児福祉計画	用障がい福祉計画・			

■事業費(単位													
	令和3年			13年月	画信) 更			令和4年原				令和5年度	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳(具体的な内		事業 (直接	< (東 経費)		内訳 具体的な内容) -	事業費 (直接経費		(具体的	記 な内容)	事業費 (直接経費)
	介護給付費・訓 練等給付費	652, 756	介護給付費 練等給付費	• 訓	6	31, 431	介記練等	護給付費・訓 等給付費	631,	431	介護給付 練等給付	寸費・訓 寸費	631, 431
	(補助額)	483, 613	(補助額	[)	4	73, 572	-	(補助額)	473,	_		功額)	473, 572
	計画相談支援 給付費	11, 913	計画相談3 給付費	支援		11, 307	計	画相談支援 付費	11,	307	計画相 給付費	談支援	11, 307
	(補助額)	9, 218	(補助額	[)		8, 479		(補助額)	8,	479	(補月	功額)	8, 479
事業内訳	特定障害者特 別給付費	8, 530	特定障害者 別給付費			7, 086	特別別	定障害者特 給付費	7,	086	特定障 別給付	害者特 費	7, 086
争未内部	(補助額)	6, 552	(補助額	[)		5, 314	_	(補助額)	5,	314		功額)	5, 314
	補装具費給付費	8, 407	補装具費約 費	洽付		7,815	補費	装具費給付	7,	815	補装具 費	費給付	7, 815
	(補助額)	5, 826	(補助額	[)		5, 860		(補助額)	5,	860	(補	功額)	5, 860
	身体障害者デイサー ビス事業委託料等	4, 645	身体障害者デイ ビス事業委託料	'サー 等		7,661	身体ビス	は障害者デイサー 以事業委託料等	7,	661	身体障害者 ス事業委託	デイサービ E料等	7, 661
	(補助額)	15	(補助額	()		2, 561		(補助額)	2,	561	(補)	功額)	2, 561
	合 計	686, 251	合「	計	66	5, 300		合 計	665, 3	00	合	āl	665, 300
	(補助額)	505, 224	(補助額)	49	5, 786		(補助額)	495, 7	86	(補	助額)	495, 786
	成果指標		単位		状値			各年度の					目指す方向性)
	7707[47]			(平成	29年度)	令和元年	₣度	令和2年度	令和3年度	令和	和4年度	令和5年度	令和10年度
(2) 障がい福祉-	サービス利用者数		人	2	277	306		334	372			300	330
指標の分析	相談支援事業所 の充実や障がい	听から障がい福 v者手帳取得者	福祉サービン 音増加に伴う	スの利	月用につける	ながる増加が	ケ ^ー 見i	ースが増えて 込まれます。	います。 イ	今後	も障がい	ハ福祉サ	ービス事業所
■事業の評価	(CHECK)												
項目		評価	i視点						部	呼価の	D結果		
必要性	・住民のためし・市民ニーズ、・市民生活上。)であり、3	求めら	られてい	いるか			割	☑価対	対象外		
効率性				か					割	☑価対	対象外		
妥当性	・市・住民・[団体で誰が実施	直するのが.	良いか),7				韶	延価対	才象外		
施策への貢献度	・施策への貢 ・目標達成度 ・市民サービ								韶	延価対	才象外		
■今後の進め:	方【ACTION】		長意見									5向性	
			象外							対象外			

				計画実施計	·画事業	評価	シート《令和	3年度分》	
事業No		実施計	画に係る	事業名			課	グループ	作成日
(2-2) 心身	章がい者福祉 タク	/ シー助	成事業				福祉課	障害福祉グループ	令和4年7月12日
■総合計画 <i>σ</i>)位置づけ								
	基本目標	2	【健康	・子育て・福祉	止】笑顔	あふれる	る、健やかで共	に支え合うまち	重点施策
基本計画	施策目標	4	障がい	者支援の充実					
本 本計画	主要施策	2	生活支	援の充実					
	主要事業	2	心身障	がい者福祉タク	ウシー助	成事業			
SDGs 連携分野	目標 3. あら 3 **\ToAlc 4 ** - 人人 - 人人 - 人 - 人 - 人 - 人 - 人	ゆる年	齢のす。	べての人々の傾	と、	上活を確	経保し、福祉を	促進する	
■事業内容【	PLAN]								
事業目的	_			がける屋外での程 します。	移動及び	活動	主な協働・ 関連団体等	各タクシー事業者	
事業概要	シ・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・	れる場合 れる数 を利 を を を を を を を を を を を を を	合(利用のがががいる)	合(1回の乗り 者割引分を控い 者割引を控除 ・利用の場合(助成しま 車につき 除した額 した額) 1回の乗	す。 2枚) 及 相当	関連する 個別計画・ 根拠法令等	障がい者計画・第6月2期障がい児福祉計画	
事業の開始・ 終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位	立:千円)【DO】											
		度(実績)		回3年度(計画				度(計画)			令和5年度	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な	事 内容) (直持	業費 接経費)	内訳 (具体的な	内容)	事業費 (直接経費	ř)	内 (具体的	引訳 対な内容)	事業費 (直接経費)
	扶助費	4, 549	扶助費		5, 972		扶助費 5,		972	972 扶助費		5, 972
	(補助額)	0	(補助額	頂)	0	(補助客	湏)		0	(補月	助額)	(
	(補助額)		(補助額	湏)		(補助客	湏)			(補」	助額)	
事業内訳												
	(補助額)		(補助額	預)		(補助客	頂)			(補助	助額)	
	(補助額)		(補助額	頂)		(補助客	湏)			(補」	助額)	
	(補助額)		(補助額	酒)		(補助客	石)			(補助額)		
	合 計	4, 549		計	5, 972		計	5, 9	72	合	計	5, 972
	(補助額)	0	(補助額	Ē)	0	(補助額	i)		0	(補	助額)	0
	成果指標		単位	現状値		各	年度σ	実績値			目標値(目	指す方向性)
	火木田宗		- 中四	(平成29年度)	令和元年	F度 令和2	生度	令和3年度	令	和4年度	令和5年度	令和10年度
					1							
					•	•			•			-

指標の分析

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	令和3年度は、429名の利用申請があり、障がいによって 公共交通機関の利用が難しい方や駅やバス停までの移動が 困難な方に対し、外出支援(通院や余暇活動等)のため必 要な事業です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか・コストの削減、費用対効果・執行体制の効率性・手段の最適性	窓口での交付申請が難しい方は、指定居宅介護支援事業所 や指定特定相談支援事業所を経由しての申請も可能として おり、スムーズな交付に繋がっています。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	障がい者支援の一環として、送迎のあるタクシー利用の助成を市が行うことは妥当です。
施策への貢献度	・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果	タクシー助成事業は、総合計画における障がい者支援の充 実を図るために必要であり、生活支援の充実に繋がりま す。

課長意見	方向性
住み慣れた地域で安心して暮らしていくため、通院を含め外出する際の移動の手助けは必 です。	要現状維持

	<u> </u>	第2次総合	計画実施計	十画事業評価	西シート《令和	13年度分》		
事業No	実	ミ施計画に係	る事業名		課	グルーフ	プ	作成日
(3) 障害児	見通所支援事業(再				福祉課	障害福祉グル	レープ	介和4年7月7日
 ■総合計画の	位置づけ							
	基本目標	2 【健康	長・子育て・福	祉】笑顔あふれ	れる、健やかで共	 に支え合うまち		重点施策
基本計画	施策目標	4 障がい	*者支援の充実					
本 本 山 凹	主要施策	保健・	医療サービス	の充実				
	主要事業		見通所支援事業	(再掲)				
	目標3. あらぬ	ゆる年齢のす	べての人々の位	健康的な生活を	確保し、福祉を	促進する		
SDGs								
連携分野								
	3 すべての人に 健康と福祉を							
	3 fxての人に 健康と福祉を							
事業内容【F	<i>-</i> ₩ ^							
■事業内容【F	ー /√ PLAN】 障がいの予防、			f、機能訓練体		障害児通所サー	・ビス事業所	:
	-W∳			f、機能訓練体	主な協働・		・ビス事業所	:
Ⅰ事業内容【F 事業目的	ー /√ PLAN】 障がいの予防、			5、機能訓練体		障害児通所サー	・ビス事業所	:
	ーW↓ PLAN】 障がいの予防、 制を充実させ、	福祉の増進る	を図ります。		主な協働・ 関連団体等			:
	ー ル PLAN 障がいの予防、 制を充実させ、 でがい児の生活 かる給付支援を	福祉の増進を 能力向上の7 行います。	を図ります。		主な協働・ 関連団体等	国保連	第6期障が	
事業目的	PLAN】 障がいの予防、制を充実させ、 制を充実させ、 に対していた。 ・がい児の生活がる給付支援をする。 ・がは、 ・がは、 ・がは、 ・がは、 ・がは、 ・がは、 ・がは、 ・がは、	福祉の増進? 能力向上の? 行います。 サービス	を図ります。		主な協働・ 関連団体等 	国保連 相談支援事業所 障がい者計画・	第6期障が	
	ー/√ PLAN】 障がいの予防、 制を充実させ、 にはいい。 ではいいのでは、 ではいいのではいいのでは、 ではいいのでは、 ではいいのでは、 ではいいのでは、 ではいいのでは、 ではいいのでは、 ではいいのでは、 ではいいのでは、 ではいいのでは、 ではいいのでは、 ではいいのでは、 ではいいのでは、 ではいいのでは、 ではいいのでは、 ではいいのでは、 ではいいのでは、 ではいいのでは、 ではいいのでは、 ではいいのではいいのでは、 ではいいので	福祉の増進? 能力向上の? 行います。 サービス 支援	を図ります。		主な協働・ 関連団体等 関連する・ 個別計画・	国保連 相談支援事業所 障がい者計画・ 2期障がい児福	第6期障が	
事業目的	PLAN】 障がいの予防、制を充実させ、 制を充実させ、 に対して、 にがし、 にがし、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、	福祉の増進? 能力向上の? 行います。 サービス 支援	を図ります。		主な協働・ 関連団体等 関連する	国保連 相談支援事業所 障がい者計画・ 2期障がい児福	第6期障が	

	→ 一 今和3年日													
	内訳	度(実績) 事業費	令和 内訳		(計画) 事業費	\$		令和4年 内訳	度(計画) 事業費			令和5年 引訳	度(計	├画) 事業費
	(具体的な内容)	(直接経費)	(具体的な	(内容)	(直接経	費)	(具体	的な内容)	(直接経		(具体的	りな内容)	(]	直接経費)
	障害児通所給 付費	167, 062	障害児通 付費	所給	150), 237	障害 付費	児通所給	150	, 237	障害児 付費	通所給		150, 23
	(補助額)	131, 982	(補助額	額)	112	2,677		甫助額)	112	, 677		助額)		112, 6
	障害児相談支 援給付費	4, 710	障害児相 援給付費	談支	4	1,602	障害 援給	児相談支 付費	4	, 602	障害児 援給付	相談支費		4, 60
	(補助額)	4, 204	(補助額	額)	3	3, 451	(ネ	甫助額)	3	, 451	(補」	助額)		3, 4
事業内訳	障害児通所給付費支 払事務手数料	281	障害児通所給 払事務手数料	付費支		224	障害児i 払事務	通所給付費支 手数料		224	障害児通月 事務手数料	所給付費支払 斗	4	2
	(補助額)	0	(補助額			0		甫助額)		0		助額)		
	高額障害児通 所給付費	所給付費 。			8		高額障害児通所給付費 (補助額)			8	高額障害児通 所給付費			
	(補助額)	0	(補助額	額)		6	(*	甫助額)		6	(補」	助額)		
	(補助額)		(補助智	額)			(衤	甫助額)			(補」	助額)		
	合 計	172, 061	合	計	155,	071	合	計	155,	071	合	計		155, 07
	(補助額)	136, 186	(補助都	質)	116,	134	(4	補助額)	116,	134	(補	助額)		116, 13
	战田长梅		単位	現	状値			各年度0	D実績値			目標個	[目指	す方向性
	成果指標		甲型	. (平成	29年度) -	令和元年	F度	令和2年度	令和3年度	令	和4年度	令和5年	F 度	令和10年周
										+-				
お	新型コロナウイ	ルスの影響に	より一時	的に利	用控えが	ぶあり	ました	たが、日常	常生活適応	訓練	<mark>の利用</mark> ;	が高まっ	ってお	3り、令ラ
指標の分析	3年度もコロナ	プルスの影響に 禍ではありま	より一時すが、利用	的に利用者数に	用控えがよ増加した	ぶありました	ました。	たが、日常	常生活適応	訓練	の利用	が高まっ	ってお	らり、令者
指標の分析 事業の評価 項目	3年度もコロナ	禍ではありま ^っ	より一時ずが、利用	的に利用者数に	用控えがは増加して	ゞあり まし <i>†</i>	ましった。	たが、日常			の利用に	が高まっ	ってお	3り、令和
■事業の評価	3年度もコロナ	<mark>禍ではありま</mark> 評価 こ効果的なもの 社会需要	<mark>すが、利用</mark> i視点	用者数/	<mark>は増加し</mark>	ました	ましった。	たが、日常	Ī	評価(が高まっ	ってお	5り、令 ⁵
『事業の評価 項目	3年度もコロナ 【CHECK】 ・住民のために ・市民ニーズ、	福ではありまではありまでは、 神価ではありまでは、 の果的なものは、 社会であるかでは、 でする。 でする。 でする。 では、 でする。 では、 でする。 では、 でする。 では、 でする。 では、 でする。 では、 でする。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	すが、利用 視点 つであり、 こ夫したの	財者数に 求めら	<mark>は増加し</mark>	ました	ました。	たが、日常	THE	評価(の結果	が高まっ	つってお	5り、令5
■事業の評価 項目 必要性	3年度もコロナ i【CHECK】 ・住民のために ・市民生活上並 ・前年に比べて ・コストの削減 ・執行体制の数	福ではありまで 調価 こ効果的な要 か社会であるか ことでであるか ことでであるか ことでであるか ことでであるか こが、また。 このは、このは、このは、このは、このは、このは、このは、このは、このは、このは、	すが、利用 視点 つであり、 こ夫したの	求めら	は増加し	ました	ました。	たが、日常	THE THE	平価な	の結果 対象外	が高まっ	つってお	5り、令 ⁷
1事業の評価 項目 必要性 効率性	3年度もコロナ (CHECK) ・住民のために、 ・市民生活上点 ・前コステムを制める。 ・事段の最適性 ・市・住民・医	福ではありまではありまでは、 の対象のであるから対対の大きでの。 では、変性では、変性性が変が、 ながまれてで、ながない。 は、変性は、なが、まが、まが、まが、まが、まが、まが、まが、まが、まが、まが、まが、まが、まが	すが、利用 視点 つであり、 こ夫したの	求めら	は増加し	ました	また。	たが、日常	THE THE	平価す	の結果 対象外 対象外	が高まっ	ってお	5り、令 ⁵
事業の評価 項目 必要性 効率性 妥当性	3年度もコロナ (CHECK) ・住民のために、 ・市民生活上は ・前コステムトの制の強い。 ・事段の最適性 ・市・住民・医 ・施策達成度	福ではありまではありまではありまではありまでものな要のから対対のより対対がませば、本では、本性で、推び、実施が生まれて、は、本性で、は、などのでは、などのでは、などのでは、などのでは、などのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	すが、利用 視点 つであり、 二夫したの であるのが	求めら	は増加し	ました	また。	たが、日常	THE THE	平価す	か結果 対象外 対象外		ってお	ののでは、
事業の評価 項目 必要性 効率性 妥当性	3年度もコロナネ (CHECK) ・住民のために、・ ・住民民生に、・ ・前コス行体の制造 ・市・住民・ ・市・住民・ ・市・自居民・ ・施標標サー・ ・市・市	福ではあります。 評価 な要る が表表 の教社での の教生 の教生 がまれ では、 の教生 がまれ は、 な要な な要な の教生 がまれ は、 なの ない は、 ない ない ない ない ない ない ない ない ない な	すが、利用 視点 つであり、 こ夫したの	求めら	は増加し	ました	ましい	たが、日常	THE THE	平価す	の結果 対象外 対象外 対象外	が高まった	ってお	5り、令 ²

		第2次総	了計 画 美施計	迪 事 莱 評 位	もう しょうりょう かんりゅう かんしょう しょうしょ しょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	3年度分》	
業No		実施計画に	係る事業名		課	グループ	作成日
4-1) 就労移	行支援事業				福祉課	障害福祉グループ	令和4年7月7日
 総合計画の [・]	 位置づけ				<u> </u>		
	基本目標	2 [1	建康・子育て・福祉	业】笑顔あふれ	る、健やかで共	<u></u> に支え合うまち	重点施策
**	施策目標	4 障/	がい者支援の充実				
基本計画	主要施策		労支援の充実と社会	会参加の促進			
	主要事業	4 就	労移行支援事業				
	目標3. あら	ゆる年齢の)すべての人々の健	は康的な生活を	確保し、福祉を	促進する	
			売可能な経済成長及 ク)を促進する	なびすべての人	々の完全かつ生	産的な雇用と働きがいて	のある人間らしい履
	711 (7 4 2 4	- 1 -	// E/KLE/S				
000							
SDGs 連携分野							
	3 すべての人に 健康と福祉を	8 働きがり 経済成長	. 1				
	-M/	<i>∧</i>	4				
	γ.						
事業内容[P							
事業内容【P			が一般企業に就職す。	できるよう支		障害福祉サービス事業	所
事業内容【P	一人でも多くの			できるよう支	主な協働・関連団体等	障害福祉サービス事業海部障害者就業・生活	
事業内容【P	一人でも多くの			できるよう支	主な協働・ 関連団体等		
	一人でも多く6 援することを1	目的としま	す 。			海部障害者就業・生活 国保連	支援センター
	一人でも多くの 援することを 脱労を希望する 力の向上を図る	目的としまる障がい者		要な知識や能		海部障害者就業・生活	支援センター
	- 人でも多くの 接することを 就労を希望する 力のします。 (事業費は、)	目的としま る障がい者 る訓練等の	す。 <u>-</u> に対し、就労に必	要な知識や能 かる給付を支	関連団体等	海部障害者就業・生活 国保連 障がい者計画・第6期	支援センター
事業目的	- L でも多くの 接することを 就労を希望する 力の向上を図る 接します。	目的としま る障がい者 る訓練等の	す。 に対し、就労に必 サービス利用にか?	要な知識や能 かる給付を支	関連団体等 関連する 個別計画・	海部障害者就業・生活 国保連 障がい者計画・第6期 2期障がい児福祉計画	支援センター
事業目的	- 人でも多くの 接することを 就労を希望する 力のします。 (事業費は、)	目的としま る障がい者 る訓練等の	す。 に対し、就労に必 サービス利用にか?	要な知識や能 かる給付を支	関連団体等	海部障害者就業・生活 国保連 障がい者計画・第6期 2期障がい児福祉計画	支援センター

		度(実績)		3年度(計			令和4年				令和5年		
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内		業費 接経費)		内訳 的な内容)	事業費 (直接経費	量)		内訳 内な内容)		事業費 [接経費]
	障害者自立支援事 業にて計上済	0	障害者自立支 業にて計上済		0		自立支援事 計上済			障害者自 業にて計	立支援事 ·上済	:	
	(補助額)	0	(補助額		0		輔助額)		0		助額)		
	(補助額)		(補助額	i)		(輔助額)			/ 2击 [助額)		
	(門別領)		作用切倒	1)		\mathred{TF}	用切倒/			(作用)	明領)		
事業内訳													
	(補助額)		(補助額	()		(神	輔助額)			(補	助額)		
	(補助額)		(補助額	j)		(神	輔助額)			(補月	助額)		
	(補助額)		(補助額	į)		(神	輔助額)			(補」	助額)		
	合 計	0	合言	H	0	合	計		0	合	計		
	(補助額)	0	(補助額))	0	(‡	補助額)		0	(補)	助額)		
	成果指標		単位	現状値			各年度 <i>0.</i>	実績値				直(目指	す方向性
	及木田味		+12	(平成29年度)	令和元年	年度	令和2年度	令和3年度	令和	和4年度	令和54	年度	令和10年
)就労移行支持	爱事業利用者数		人	4	12		17	14			7		9
.)就労移行支持	爱事業利用者数		人	4	12		17	14			7		9
)就労移行支持 指標の分析	爱事業利用者数 令和2年度に 利用できるため	とべ利用者数は り、今後利用者	は減少しまし	たが、精	神疾患の	かあるブ	方が増え る	中、障がし	い者が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要がある。	手帳を汚要と考;	所持して	ていな	
	<mark>令和2年度には</mark> 利用できるため	とべ利用者数は う、今後利用者	は減少しまし	たが、精	神疾患の	かあるブ	方が増え る	中、障がし	い者。	手帳を戻っている。	所持して	ていな	
指標の分析	<mark>令和2年度には</mark> 利用できるため	か、今後利用者	は減少しまし	たが、精	神疾患の	かあるブ	方が増え る	中、障がし	が必	手帳を考え	所持して	ていな	
指標の分析 事業の評価	<mark>令和2年度には</mark> 利用できるため	b、 今後利用者 評価 こ効果的なもの 社会需要	は減少しまし 行の増加が見 面視点	ンたが、精 見込まれま	神疾患のす。受入	かあるブ	方が増え る	中、障がは	が必 ^り 平価 <i>の</i>	要と考え	所持して	ていな	
指標の分析 事業の評価 項目	令和2年度には利用できるため【CHECK】・住民のためは・市民ニーズ、	ウ、今後利用者 評価 こ効果的なもの 社会需要 必要であるか てどのよう対効男 効率性	は減少しましたのが見れています。 正視点 のであり、を	たが、精 込まれま	神疾患のす。受入	かあるブ	方が増え る	中、障がは	が必 ^り 平価 <i>の</i> 平価ネ	<mark>要と考</mark> だ D結果	所持して	ていな	
指標の分析 事業の評価 項目 必要性	令和2年度に出 利用できるため 【CHECK】 ・住民のためい ・市民生活上が ・前年に比べて ・コストの削が ・執行体制のを	ウ、今後利用者 評価 こ効果的なもの 社会需るか と要であるか ことでも でして でして が本性	は減少しましたのか。 正夫したのか	たが、精 記込まれま 求められて	神疾患のす。受入	かあるブ	方が増え る	中、障がい	平価 <i>の</i> 平価 <i>の</i> 平価文 平価文	要と考え の結果 対象外	所持して	ていな	
指標の分析 事業の評価 項目 必要性 効率性	令和2年度には 利用できるため 【CHECK】 ・住民のたったのたったー・市民生生活上は ・前年に比の制のが、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ウ、今後利用者 評価 こ効果的需るか と要でのよう対効の とでで、 で成本性 は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	は減少しましたのか。 正夫したのか	たが、精 記込まれま 求められて	神疾患のす。受入	かあるブ	方が増え る	中、障がい	<u> </u>	要と考。 の結果 対象外 対象外	所持して	ていな	
指標の分析 事業の評価 項目 必要性 効率性 妥当性	令和2年度には 利用できるため (CHECK) ・住民のたったのたったった。 ・市民生生にいのが、 ・前年により、 ・新二ののでは、 ・本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ウ、今後利用者 評価 こ効果的需るか と要でのよう対効の とでで、 で成本性 は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	は減少しましたのか。 正夫したのか	たが、精 記込まれま 求められて	神疾患のす。受入	かあるブ	方が増え る	中、障がい	<u> </u>	<mark>要と考</mark> が か 対象外 対象外 対象外	所持して	ていな	
指標の分析 事業の評価 項目 必要性 効率性 妥当性	令和2年度に出利用できるため 【CHECK】 ・住民民のために、からに、上がののに一活という。 ・市民生にいの制の適性 ・市・住民・トゥー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ウ、今後利用者 評価 な果り無いな要のかのでは、 の教会ででいる。 の教会ででいる。 の教会ででいる。 の教会ででいる。 では、本性では、 では、本性では、 での効果	は減少しましたのか。 正夫したのか	たが、精 記込まれま 求められて	神疾患のす。受入	かあるブ	方が増え る	中、障がい	<u> </u>	要と考される D結果 対象 対象 外 対象 外 対象 外 対象 外 対象 外 対象 対象 </td <td>所持して</td> <td>ていな</td> <td></td>	所持して	ていな	

		第2次	総合計画実施計	画事業評	『価シート《令利]3年度分》	
業No		実施計画	に係る事業名		課	グループ	作成日
4-2) 就労組	继続支援事業				福祉課	障害福祉グループ	令和4年7月7日
<u>───</u> 総合計画の	 位置づけ						
	基本目標	2	【健康・子育て・福祉	业】笑顔ある	ふれる、健やかでま	<u></u> はに支え合うまち	重点施策
	施策目標	4 屆	章がい者支援の充実				
基本計画	主要施策	京					
	主要事業	4 京	光労継続支援事業				
	目標3. あら	ゆる年齢	のすべての人々の傾	建康的な生活	を確保し、福祉を	・促進する	
			続可能な経済成長及 ーク)を促進する	とびすべての	人々の完全かつ生	産的な雇用と働きがい	ハのある人間らしい原
	711 (7 4 6	21 2					
SDGs							
連携分野							
	O TOTAL	○ 40 ±+	ii(t) s .				
	3 すべての人に 健康と福祉を	8 働きが 経済月	FUNG 放棄も				
	3 すべての人に 健康と福祉を	8 概念	がいる 大変 数を				
	3 すべての人に 健康と福祉を	8 報告	pilva Kras				
事業内容【F	-⁄√√ PLAN]	î	1				
事業内容 <mark>【</mark> F	-/√▼ PLAN】	就職が困算を提供する	戦な障がい者に就労 ることによって、そ			障害福祉サービス事	業所
	-/√▼ PLAN】 一般企業への記	就職が困算を提供する	雑な障がい者に就労				
事業内容【F 事業目的	-/√▼ PLAN】	就職が困算を提供する	雑な障がい者に就労		л	障害福祉サービス事海部障害者就業・生	
	-/√▼ PLAN】	就職が困算を提供する	雑な障がい者に就労		主な協働・		
		就職が困ずを提供する。 就職が困難を表す。	雑な障がい者に就労ることによって、その をことによって、その がい者に、就会給付を支援します。	の知識や能力を表現である。	主な協働・関連団体等	海部障害者就業・生	活支援センター 期障がい福祉計画・
事業目的		就職が困ず を提供する ます。 就職が困ず おれたのかか がかかり 主要施策	雑な障がい者に就労ることによって、その なことによって、その	の知識や能力を表現である。	主な協働・関連団体等	海部障害者就業・生 国保連 障がい者計画・第6 2期障がい児福祉計	活支援センター 期障がい福祉計画・
事業目的	ー ル → PLAN】 一般企業への記 活動等の機会での向上を図りま 一般企業へでは、 では、事業費は、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	就職が困ず を提供する ます。 就職が困ず おれたのかか がかかり 主要施策	雑な障がい者に就労ることによって、その をことによって、その がい者に、就会給付を支援します。	の知識や能力を表現である。	主な協働・関連団体等 関連する・個別計画・	海部障害者就業・生 国保連 障がい者計画・第6	活支援センター 期障がい福祉計画・
事 業内容【F 事業目的 事業概要	ー ル → PLAN】 一般企業への記 活動等の機会での向上を図りま 一般企業へでは、 では、事業費は、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	就職が困ず を提供する ます。 就職が困ず おれたのかか がかかり 主要施策	雑な障がい者に就労ることによって、その をことによって、その がい者に、就会給付を支援します。	の知識や能力を表現である。	主な協働・関連団体等	海部障害者就業・生 国保連 障がい者計画・第6 2期障がい児福祉計	活支援センター 期障がい福祉計画・

	令和3年			3年度(計画			令和4年				令和5年度		
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内	事 容) (直	業費 接経費)	(具化	内訳 体的な内容)	事業費 (直接経費	b)	区 (具体的]訳 日な内容)	事業 (直接網	買 費)
	障害者自立支援事 業にて計上済	0	障害者自立支持 業にて計上済	援事	0	障害者業に	者自立支援事 て計上済		0	障害者自業にて計	立支援事 上済		
	(補助額)	0	(補助額))	0		補助額)		0		功額)		
	(補助額)		(補助額)	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		(補助額)			/ 大击 [助額)		
	(門切倒)		(門切伍)	,		(州切俄/			(1817)	列伐(
事業内訳													
	(補助額)		(補助額))		(補助額)			(補月	助額)		
	(補助額)		(補助額))		(補助額)			(補」	功額)		
	(補助額)		(補助額))		(補助額)			(補」	功額)		
	合 計	0	合言	t	0	4	情信		0	合	計		
	(補助額)	0	(補助額)		0		(補助額)		0	(補)	助額)		
	成果指標		単位	現状値			各年度 <i>0.</i>	実績値				目指す方「	
	以未拍悰		中四	(平成29年度)	令和元年	丰度	令和2年度	令和3年度	令	和4年度	令和5年度	令和	0年月
					-							_	
					1							-	
指標の分析													
事業の評価	(CHECK)												
項目		評価	i視点						平価の	D結果			
必要性	・市民ニーズ、	に効果的なもの 、社会需要	つであり、才	 さめられて	いるか			160	平価対	计象外			
	・市民生活上	必要であるか											
	☆欠)。以	ていのトミレコ	-+12-01										
効率性	・コストの削	てどのようにコ 減、費用対効界	L大したのか 見	17				1	区価さ	付象外			
初午江	・執行体制の3・手段の最適							н	ГІЩЛ	13871			
	7 127 1472												
妥当性	・市・住民・	団体で誰が実施	色するのが良	見いか				桶	区価支	付象外			
X - 1 - 1								н	і Іші	1 2007 1			
	・牧笠。の声	掛床											
策への貢献度	・施策への貢・目標達成度							Ē	平価対	寸象外			
	・市民サービ	スへの効果 											
今後の進め	方【ACTION】												
		課	長意見							7	方向性		

			第2岁	マ総合	計画実施計	·画事業評ſ	エシート《令和	 l3年度分》	
事業No				画に係る			課	グループ	作成日
(5)	障がいる	者グループホー	-ム整備	促進事	業		福祉課	障害福祉グループ	令和4年7月7日
■総合討	†画の位	位置づけ							
		基本目標	2	【健康	子育て・福祉	祉】笑顔あふ	1る、健やかで共	に支え合うまち	重点施策
# 4-	: I ===	施策目標	4	障がい	者支援の充実				
基本語	汗 幽	主要施策	5	住環境	の整備				
		主要事業	Э	障がい	者グループホー	ーム整備促進	事業		
SDO 連携 <i>?</i>		目標 3. あら 3 ***********************************	ゆる年	齢 <i>のす</i> 、	べての人々の傾	建康的な生活を	確保し、福祉を	促進する	
■事業内	内容【PL	_AN]							
事業[目的	障がい者が地域 ループホーム等	等の整備	帯を促進	i します。		主な協働・関連団体等	障害福祉サービス事業	業所
事業権		障がい者が自立活援助を実施でます。					関連する 個別計画・ 根拠法令等	障がい者計画・第6月 2期障がい児福祉計画 障害者総合支援法	期障がい福祉計画・第 国
事業の 終		開始年度	令和2	年度	終了年度	令和10 年度			

■事業費(単位	拉:千円)【DO】											
	令和3年	度(実績)	令和	3年度(計画	画)		令和4年	变(計画)		令	和5年度	(計画)
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的なD	事 内容) (直	業費 接経費)		内訳 的な内容)	事業費 (直接経費	<u>}</u>) (<u></u>	内記 具体的		事業費 (直接経費)
	障害者共同生活援 助事業費補助金	2, 180	障害者共同生 助事業費補助	活援	1,740	障害者:	共同生活援 費補助金	1,	740 障 助	害者共同 事業費補	引生活援 前助金	1, 740
	(補助額)	1, 089	(補助額	į)	870	(補	助額)		870	(補助]額)	870
	(補助額)		(補助額	Ī)		(補	助額)			(補助]額)	
事業内訳												
7701740	(補助額)		(補助額	į)		(補	助額)			(補助]額)	
	(補助額)		(補助額	i)		(補	助額)			(補助]額)	
	(補助額)		(補助額	į)		(補	助額)			(補助]額)	
	合 計	2, 180	合 i	H	1, 740	合	計	1, 7	40	合	計	1,740
	(補助額)	1, 089	(補助額)	870	(神	献額)	8	70	(補助	額)	870
	成果指標		単位	現状値			各年度 <i>0</i>	実績値			目標値(目	指す方向性)
	/久木 1日 示		7 12	(平成29年度)	令和元年	F度	令和2年度	令和3年度	令和4	4年度	令和5年度	令和10年度
(5) グループホー	ーム数		か所	2	2		3	3		+	3	4

■事業の評価【CHECK】

指標の分析

項目 評価視点 評価の結果 親亡き後も障がいのある方が地域で生活していくために グループホームのように支援を受けながら、共同生活 ・住民のために効果的なものであり、求められているか を送る場が必要です。グループホームに入居した障がい者が、土日休日にホームで過ごす際に必要となる経費(人件費等)を助成することで、共同生活援助の経営の安定化及 必要性 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか びその参入促進を図ります。 ・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 愛知県障害者共同生活援助事業費補助金交付要綱をもと 効率性 執行体制の効率性 に、助成を実施しています。 ・手段の最適性 共同生活援助の経営の安定化及びその参入促進を図るため ・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか 妥当性 に、助成を市(県1/2)が行うことは妥当です。 グループホームの確保・改善への支援は、総合計画における障がい者支援の充実を図るために必要であり、生活支援 ・施策への貢献度 施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果 の充実に繋がります。

保護者の高齢化に伴い、一人暮らしなどが難しい障がい者が地域で共同生活を送るグループホームの需要は、今後も 増加が見込まれます。弥富市内のグループホーム数は横ばいですが、近隣地域への入所者数は増えています。

課長意見	方向性
障がいのある人が自立した生活を安定的に営めるよう、また、グループホームの確保につながるよう、共同生活援助を実施する事業所に対し運営費の一部を補助することは必要です。	現状維持

			第2次	マ総合	計画実施計	·画事業評価	iシート《令和	3年度分》		
事業No			実施計	画に係る	事業名		課	グループ	作月	は日 一
(6)	障がい	者ボランティア	活動補	助事業			福祉課	障害福祉グループ	令和4年	7月7日
■総合計	†画の位	位置づけ								
		基本目標	2	【健康	子育て・福祉	止】笑顔あふれ	る、健やかで共	に支え合うまち	j	重点施策
# + -	el oso	施策目標	4	障がい	者支援の充実					
基本語	T凹	主要施策	6	意識啓	発等の推進					
		主要事業	О	障がい	者ボランティブ	ア活動補助事業				
		目標3. あら	ゆる年	齢のすべ	べての人々の健	まめな生活を	確保し、福祉を何	促進する		
		目標17. 持続	可能な	開発の7	ための実施手段	とを強化し、グ	ローバル・パー	トナーシップを活性化	する	
SD(連携分										
		3 すべての人に 健康と福祉を	17	バートナーシップ 目標を達成しよ	re 3					
■事業内	内容【PI	_AN]								
		障がい者の福祉 養成や活動をラ	支援し、					ボランティア団体		
事業[≣的	づくりを進める	ます。				主な協働・ 関連団体等			
							因廷四仲守			
		社会福祉協議会		录してい	るボランティン	ア団体に補助				
		金の交付を行い	います。							
事業権	既要						関連する 個別計画・			
							根拠法令等			
事業の終っ		開始年度	令和2	年度	終了年度	令和10 年度				

	令和3年			和3年度				令和4年原				令和5年原		
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内部 (具体的な		事第 (直接	*費 経費)	(具体	内訳 体的な内容)	事業費 (直接経費			i訳 な内容)	事業費 (直接経費	· 費)
	障害者ボランティ ア活動事業補助金	110	障害者ボラ ア活動事業	ンティ 補助金		110	障害者 ア活動	音ボランティ 助事業補助金		110	障害者ボ ア活動事	ランティ 業補助金		11
	(補助額)	50	(補助	額)		82	(1	補助額)		82	(補助	功額)		8
	(補助額)		(補助	額)			(1	補助額)			(補助	助額)		
事業内訳														
	(補助額)		(補助	額)			(1	補助額)			(補助	助額)		
	(補助額)		(補助	額)			(1	補助額)			(補助	助額)		
	(補助額)		(補助	額)			(1	補助額)			(補月	助額)		
	合 計	110	合	計		110	合	計	1	10	合	計		110
	(補助額)	50	(補助	質)		82	(補助額)		82	(補」	助額)		82
	成果指標		単位	7	状値 29年度)	令和元年	F度	各年度の ^{令和2年度}	字績値 ^{令和3年度}	令	和4年度	目標値(目指す方向	
														_
6) 福祉ボラン	ティア登録者物		人		86	85		88	83			89	92	
0 / 旧正小フ ク	/ 1 / 显默自然		Λ.		00	00	-	00	00			0.9	92	_
指標の分析	新型コロナウィ 録者数は減少し した。	イルスの影響で しました。しか	ボランテいし、登録	イア活団体が	動が思 7 団体	うよう から8	に行団体	えないため となり、全	、退会する 体的な登録	る方禄者	が増え、 数の大 	. 既存の 幅な減少	登録団体のは抑えられ	

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	障がいのある人の社会参加を促進するために、ボランティア団体の存在が欠かせません。そのボランティア人材確保のため、団体を支援する必要があります。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか・コストの削減、費用対効果・執行体制の効率性・手段の最適性	ボランティア団体への補助は、登録者数に関わらず、一律の額となるため、令和2年度と同額で推移しています。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	市が補助することにより、地域生活支援事業内の自発的活動支援事業に該当し、国と県への補助申請が可能となっています。
施策への貢献度	・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果	障がい者ボランティア活動補助事業を行うことは総合計画における障がい者支援の充実を図るために必要な事業であり、障がいのある人への社会参加に繋がります。

課長意見	方向性
障がい者の福祉の向上を目的とする担い手団体の育成のために、引き続き補助金を交付します。	現状維持

			第2%	欠総合	計画実施	計画	事業評価	シート《令和	 3年度分》	
事業No			実施計	画に係ん	る事業名			課	グループ	作成日
(7-1)	障害者	自立支援事業	(再掲)					福祉課	障害福祉グループ	令和4年7月7日
■総合計	画の位	対置づけ								
		基本目標	2	【健康	・子育て・	福祉】第	柔顔あふれ	る、健やかで共	に支え合うまち	重点施策
# +-=	Loss	施策目標	4	障がい	・者支援の充	実				
基本計	T凹	主要施策	7	自立支	反接給付と地	域生活	支援事業の	推進		
		主要事業	1	障害者	首自立支援事	業(再打	曷)			
SDG 連携分										
■事業内]容【PL	障がい児・者							障がい福祉サービス事	楽品
事業目	目的	ができるよう 給付を行い、	草かい? 福祉の5	温祉サー 曽進を図	ーピスや補袋 図ります。	会具に係	る 費用の	主な協働・ 関連団体等	補装具事業者	米 川
							ļ		国保連	
		障がい児・者; ができるよう; ・身体障害者:	次に掲げ	ずる給付	寸を行います	全活を' 一。	営むこと		障がい者計画・第6期 2期障がい児福祉計画	
事業概	要	・特定障害者 ・介護給付費	特別給付	寸費				関連する	障害者総合支援法	
		・計画相談支持 ・高額障害福	援給付	費				個別計画· 根拠法令等		
		・補装具費給		し ク 貝						

	· 質 (単位 : -	千円)【DO】	 		10Æ	= / 리 ==	\		<u> </u>	# (*** *** ***			<u> </u>	÷ (≑L⊇	ਜ਼ \
長年の公司 日本の公司 日本の公司 日		内訳	事業費	内訳		事業			内訳	事業費		内	引訳	事	業費
# 集集的部	介	ト護給付費・訓						介護	長給付費・訓						接経費》 631, 4
計画性談文技	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					4	73 572			473	572				473, 5
特定院書名特 8,800 別総付費 7,066 附定院書名特 7,066 附定院書名特 7,066 附定院書名特 7,066 附に院書名特 7,066 附に院書名特 7,066 附に院書名特 7,066 附に院書名特 7,666 代報助館) 5,314 イ権助館) 5,314 イ権助館) 5,314 イ権助館) 5,826 イ権助館) 7,826 イ権助能) 7,826 イ権助		計画相談支援		計画相談				計画	11相談支援			計画相	談支援		11, 3
事業内訳	······	(補助額)	9, 218	(補助額	頁)		8, 479		(補助額)	8,	479	(補」	助額)		8, 4
(補助額)	<u> </u>	川給付費	8, 530	別給付費				別糸	合付費			別給付	·費		7, 0
### 1.819 数			6, 552					-			314				5, 3
# 1,645 * *** *** *** *** *** *** *** *** ***		ŧ		費				費		7,	815	費		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	7, 8
(補助額) 15	_						5, 860	1		5,	860				5, 8
会計 686,251 合計 665,300 合計 665,300 合計 665,300 合計 665,300 合計 665,300 合計 865,300 合計 865,3			4, 645	身体障害者デイ ビス事業委託料	イサー 斗等		7, 661	身体に	章害者デイサー 事業委託料等	7,	661	身体障害者 ス事業委託	きデイサービ 毛料等		7, 6
情報報 505,224 情報報 495,786 情報報 495,786 情報報 495,786 情報報 1 目標値 1 目標値 1 目標値 1 目標値 1 日標値 1 日報 1 日		(補助額)	15	(補助額	頁)		2, 561	((補助額)	2,	561	(補」	助額)		2, 5
単位 現状値 名年度の実材値 目標値 (元表24年) 令和3年度 字価の結果 字価の結果 字価の結果 字面のおといるか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか 評価対象外 ・部年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・郭行体制の効率性 ・事でに比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・郭行体制の効率性 ・事での最適性 ・非の最適性 ・非価対象外 評価対象外 ・部千住民・団体で誰が実施するのが良いか 評価対象外 ・部二年民・団体で誰が実施するのが良いか 評価対象外 ・部二年民・団体で誰が実施するのが良いか 評価対象外 ・非価対象外 ・非価対象 ・非価対象外 ・非価対象 ・非価が表する ・		合 計	686, 251	合	計	66	5, 300	1	合 計	665, 3	300	合	計	6	65, 30
Table Ta		(補助額)	505, 224	(補助額			5, 786				786	(補			95, 78
指標の分析 事業の評価[CHECK]		成果指標		単位									目標値		方向性
事業の評価[CHECK] 項目															
事業の評価[CHECK] 項目															
事業の評価[CHECK] 項目 評価視点 評価の結果 ・住民のために効果的なものであり、求められているか・市民ニーズ、社会需要・市民生活上必要であるか・ 評価対象外・ ・前年に比べてどのように工夫したのか・コストの削減、費用対効果・執行体制の効率性・手段の最適性・・ 手段の最適性・・ 市・住民・団体で誰が実施するのが良いか・ 評価対象外・ 市・住民・団体で誰が実施するのが良いか・ 評価対象外・ 市・住民・団体で誰が実施するのが良いか・ 評価対象外・ 市民サービスへの効果・ ・ 市民サービスへの効果・ ・ 市民サービスへの効果・ ・ 市民サービスへの効果・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・															
事業の評価[CHECK]															
事業の評価[CHECK]															
事業の評価[CHECK]															
項目 評価視点 評価の結果 必要性 ・住民のために効果的なものであり、求められているか・市民ニーズ、社会需要・市民生活上必要であるか 評価対象外 効率性 ・前年に比べてどのように工夫したのか・コストの削減、費用対効果・執行体制の効率性・手段の最適性 評価対象外 妥当性 ・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか 評価対象外 送への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果 評価対象外 1今後の進め方【ACTION】 評価対象外															
必要性 ・住民のために効果的なものであり、求められているか・市民ニーズ、社会需要・市民生活上必要であるか 評価対象外 効率性 ・前年に比べてどのように工夫したのか・コストの削減、費用対効果・執行体制の効率性・手段の最適性 評価対象外 妥当性 ・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか 評価対象外 議への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果 評価対象外 1今後の進め方【ACTION】 評価対象外		HECK]	= π /π	地上						=	亚/亚/	九红田			
必要性 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか 評価対象外 効率性 ・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 評価対象外 妥当性 ・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか 評価対象外 策への貢献度 ・ 市民サービスへの効果 評価対象外	识日		高平1四	1代点						Ē	平1四 C	り桁米			
効率性 ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 評価対象外 妥当性 ・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか 評価対象外 策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果 評価対象外	要性	・市民ニーズ、	社会需要	のであり、:	求めら	られてい	いるか			部	平価対	対象外			
*施策への貢献度 ・ 植澤成度 ・ 市民サービスへの効果 * 冷後の進め方【ACTION】	率性	・コストの削減・執行体制の数	咸、費用対効射 効率性	工夫したの: 果	カゝ					許	平価対	対象外			
* 日標達成度 評価対象外 * 市民サービスへの効果 * 今後の進め方【ACTION】	当性	・市・住民・日	団体で誰が実施	値するのが.	良いか	7				部	平価対	対象外			
	の貢献度	・目標達成度								評	平価対	対象外			
課長意見 方向性	後の進め方【	[ACTION]													
777712			 課 .	長意見								7	方向性		
対象外			삵	·象外								4	対象外		

- Alle		カーシへか		「世事耒評価	シート《令和	3年度分》	
事業No		実施計画に	「係る事業名		課	グループ	作成日
(7-2) 地域生	活支援事業				福祉課	障害福祉グループ	令和4年7月12日
■総合計画の個	位置づけ						
	基本目標	2 (1	健康・子育て・福	祉】笑顔あふれる	る、健やかで共	に支え合うまち	重点施策
	施策目標	4 障7	がい者支援の充実				
基本計画	主要施策		立支援給付と地域	 生活支援事業の打	推進		
	主要事業	7 <u>地</u> 地	域生活支援事業				
SDGs 連携分野	3 すべての人に 健康と端祉を		りすべての人々の係				
■事業内容【P	LAN						
■ 事業内容[P 事業目的	障がい児・者が とができるよ	う、利用者	た日常生活や社会 の状況や地域の特 ことを目的としま	性に応じた柔	主な協働・	障害福祉サービス事業	所
	障がい児・者がとができるよう 軟で効果的なう	う、利用者 支援をする	の状況や地域の特 ことを目的としま	性に応じた柔 す。		障害福祉サービス事業	所
	障がい児・者だい児・また。 軟で効果的なる がで効果的なる ・いこのでは、 ・のでは、	う 支援 が 大援を 自 はに はに も たる 大る 大る ション も はが 大る ・ 大る ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の状況や地域の特 ことを目的としま 日常生活や社会生 給付を行います。	性に応じた柔 す。	主な協働・	障害福祉サービス事業 障がい者計画・第6期 2期障がい児福祉計画	障がい福祉計画・第
	障と軟で では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	う支が欠業一具業援業が欠業一具業援事者るたる。支たる。支支	の状況や地域の特 ことを目的としま 日常生活や社会生 給付を行います。 援	性に応じた柔 す。	主な協働・ 関連団体等 関連する 個別計画・	障がい者計画・第6期	障がい福祉計画・第
事業目的	障と軟でがかいき談ミ常動中動体年 ので相コ日移日動体年 ので相コ日移日動体年 ので相コ日移日動体年 ので相コ日移り動体年 ので相コ日移り のでも のでも のでも のでも のでも のでも のでも のでも のでも のでも	う支 が次業―具業援業者度 、援 自に シ給 事 自利 も しげ ン が 要 も利 も も し が を も も も も も も も も を も も も を も も を も を も を も を を も を を を を を を を を を を を を を	の状況や地域の特 ことを目的としま 日常生活や社会生 給付を行います。 援 造助成	性に応じた柔す。	主な協働・ 関連団体等 関連団体等	障がい者計画・第6期 2期障がい児福祉計画	障がい福祉計画・第

■事業費(単位	立:千円)【DO】											
	令和3年原	度(実績)	令和	3年度(計画	i)		令和4年	度(計画)		令	和5年度	(計画)
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な)		業費 妾経費)		内訳 的な内容)	事業費 (直接経費		内 具体的 ⁷		事業費 (直接経費)
	扶助費	70, 454		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	79, 203	扶助			203 抄			79, 203
	(補助額)	19, 344	(補助額	頁)	36, 751	(補	助額)	36,	751	(補助)額)	36, 75
	事業委託料	1, 320	事業委託制	料	3, 357	事業多	委託料	3,	357 事	¥委計	毛料	3, 35
	(補助額)	606	(補助額	頁)	2, 433	(補	助額)	2,	433	(補助)額)	2, 43
	手話通訳者報酬等	173	手話通訳和	者報	173	手話述酬等	通訳者報		173 青	三話通訓 州等	尺者報	17
事業内訳	(補助額)	79	(補助額	頁)	129	(補	助額)		129	(補助)額)	12
	ヘルプマーク購 入費等	39	ヘルプマ ^ー 購入費等	ーク	65	ヘルプ購入物	プマーク 費等		65 肺	ヘルプマ 構入費等	マーク 等	6
	(補助額)	17	(補助額	頁)	48	(補	助額)		48	(補助	額)	4
	(補助額)		(補助額	頁)		(補	助額)			(補助)額)	
	合 計	71, 986	合	āt l	82, 798	合	計	82, 7	'98	合	計	82, 798
	(補助額)	20, 046	(補助額	Ď	39, 361	(*	補助額)	39, 3	861	(補助	額)	39, 361
	成果指標		単位	現状値 (平成29年度)	令和元年	- de	各年度の ^{令和2年度}	の実績値 _{令和3年度}	令和4	4 F E	目標値(目	指す方向性) _{令和10年度}
(7) 地域生活支	援事業利用者数		人	130	92		82	74			135	140
指標の分析	新型コロナウィ に就労継続支援	ルス感染症の 受事業所が開設	影響で、そしたことが	令和2年度だから、日中-	から引き 一時支援	:続き引 などの	F話奉仕員 D利用者が	員養成研修 が移行した。	事業を ため、	・中止し 減少し	よした。 たと考え	また、近隣 られます。
■事業の評価	[CHECK]											
項目		評価	i視点					Ē	平価の	結果		
必要性	・住民のためし・市民ニーズ、・市民生活上)であり、:	求められて	いるか			許	平価対1	象外		
効率性				かゝ				許	平価対1	象外		
妥当性	・市・住民・日	団体で誰が実施	直するのが、	良いか				ii.	平価対1	象外		

■今後の進め方【ACTION】

施策への貢献度

・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果

課長意見	方向性
対象外	対象外

評価対象外

			第2%	火総合	計画実施計	画事業	評価	シート《令和	3年度分》	
事業No			実施計	画に係る	事業名			課	グループ	作成日
(7-3)	障害者	医療支援事業						福祉課	障害福祉グループ	令和4年7月12日
■総合言	十画の位	位置づけ								
		基本目標	2	【健康	・子育て・福祉	止】笑顔な	あふれ・	る、健やかで共	に支え合うまち	重点施策
44.1.		施策目標	4	障がい	者支援の充実					
基本語	計画	主要施策	_	自立支	援給付と地域生	上活支援 [®]	事業の	 推進		
		主要事業	7	障害者	医療支援事業					
		目標3. あら	ゆる年	齢のする	べての人々の健	── <u>─</u> 建康的な生	三活を確	ーーーー 全保し、福祉を	 促進する	
SD(
連携為	分 野									
		3 fx(ての人に 健康と編祉を								
■事業内	内容【PL	_AN]								
		障がい児・者に の軽減を図りる	こ対し゛ ます。	て医療費	で支出の軽減及で	び経済的	負担		医療機関	
事業	目的							主な協働・ 関連団体等	国保連	
		障がい児・者がができるよう、 養介護医療費り	身体	章害者更	[生医療費、育用	舌を営む 式医療費	こと 、療		障がい者計画・第6期 2期障がい児福祉計画	閉障がい福祉計画・第 面
事業	既要		•	- 11 - 1	- / / 0			関連する 個別計画・	障害者総合支援法	
								根拠法令等		
事業の終っ		開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度			

	令和3年原	# (- 		3年度(計画	ii)		令和4年原	奪(計画)			介和5年	度(計画)
	内訳	事業費	内訳	事	業費		内訳	事業費		Þ	小訳	事業費
	(具体的な内容) 身体障害者更生 医療給付費	(直接経費) 19,734	(具体的な内 身体障害者更 医療給付費		接経費) 34,300	身体區	*的な内容) 障害者更生 給付費	(直接経費 34,	300		<u>りな内容)</u> 害者更生 付費	(直接経費
	(補助額)	20, 277	(補助額))	25, 725		補助額)	25,	725	(補.	助額)	25,
	療養介護医療 給付費	828	皮羊		900	索盖	介護医療				護医療	
	(補助額)	739	(補助額))	675	(†	補助額)		675	(補.	助額)	
事業内訳	育成医療給付費	526	育成医療給費		510	費	医療給付		510	費	療給付	
	(補助額)	409			382	1	補助額)		382		助額)	
	育成医療認定審查委託料	21	育成医療認定查委託料		26	查委詢			26	查委託料		
	(補助額)	0	(補助額))	0	(7	補助額)		0	(補.	助額)	
	手数料	17	手数料			手数				手数料		
	(補助額)	0	(補助額))	0	(1	補助額)		0	(補)	助額)	
	合計 (補助額)	21, 126	合計		35, 758 26, 782	合	補助額)	35, 7 26, 7		合	助額)	35, 7, 26, 7
		21, 420		現状値	20, 102	,	各年度の		02	(THI		(目指す方向性
	成果指標		単位	(平成29年度)	令和元年	丰度	令和2年度	令和3年度	令	和4年度	令和5年	
指標の分析												
指標の分析 事業の評価	[CHECK]					1						
	[CHECK]	評価	石視点					ii i	平価の	の結果		
事業の評価		こ効果的なも <i>0</i> 社会需要		さめられて	いるか					の結果が象外		
事業の評価 項目	・住民のためは・市民ニーズ、・市民生活上	こ効果的なもの 社会需要 必要であるか てどのようにコ 域、費用対効別 効率性	つであり、求 ご夫した <i>の</i> か		いるか			福門	平 価対			
事業の評価 項目 必要性	 住民のためい 市民ニーズ、 市民生活上車 前年に比べて コストの削削 執行体制のが 手段の最適 	こ効果的なもの 社会需要 必要であるか てどのようにコ 域、費用対効別 効率性	つであり、求 工夫したのか 果	<i>y</i>	いるか			file file	平価 ×	対象外		
事 業の評価 項目 必要性 効率性	・住民のためい ・市民生活上点 ・前年に比べい ・前コステ体制のが ・事段の最適性 ・市・住民・ ・施策への貢献	こ効果的なもの 社会であるか と要であるか でして でして でして でして でして でして でして でして でして でして	つであり、求 工夫したのか 果	<i>y</i>	いるか			在 市 在市	平価対	对象外		
事業の評価 項目 必要性 効率性 妥当性	・住民のために ・市民生活上点 ・市民生活上点 ・前コストの制のの ・執手段の最適 ・市・住民・ ・施標達で ・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	こ効果的なもの 社会であるか と要であるか でして でして でして でして でして でして でして でして でして でして	つであり、求 工夫したのか 果	<i>y</i>	いるか			在 市 在市	平価対	对象外 对象外 对象外		
事業の評価 項目 必要性 効率性 妥当性	・住民のために、市民と生活という。 ・ 住民に上ばいる。 ・ 市市民と生活といる。 ・ 前コストルの制ののもまる。 ・ 市・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	こ効果的な要のとと要いるとのでは、本社会でのよりには、またのでは、本性のでは、本性のでは、本性のでは、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	つであり、求 工夫したのか 果	<i>y</i>	いるか			在 市 在市	平価対	对象外 对象外 对象外	方向性	